

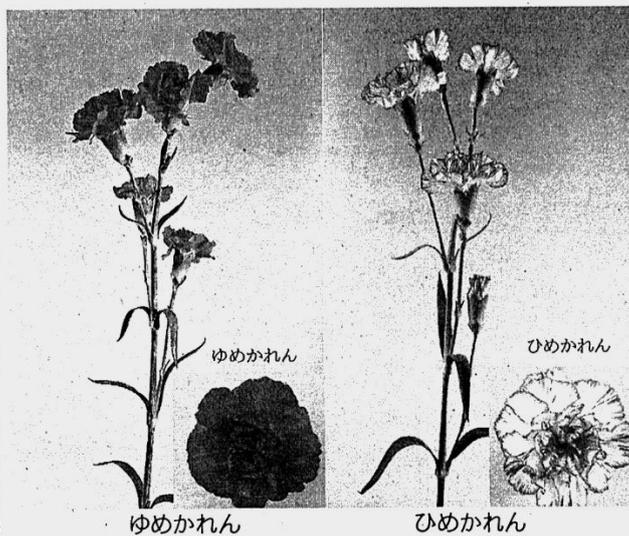
農業技術 プリズム

本県の2023年産カーネーションは栽培面積14診、生産額9億円で、菊に次ぐ主要な品目です。しかし、近年、夏場の高温により、萎凋（いちよう）細菌病の被害が拡大しており、生産量の減少につながっています。そのため、当センターでは、既存の本病抵抗性品種「花恋ルーシユ」を育種素材として、本県オリジナル品種の開発に取り組んでいます。

カーネーションは枝変わり（突然変異）を起こしやすい植物であり、花色や性質が異なる枝が自然に発生することがあります。「ゆめかれん」は、19年に品種登録された本病抵抗性品種「ひめかれん」

スプレイカーネ「ゆめかれん」特性

萎凋細菌病に抵抗性 ローズ色 花卉浅剣弁



の枝変わりにより得られました。

「ゆめかれん」は、本病抵抗性を有する一方で花色はローズ色、花卉は浅剣弁、その他の花径や花卉数などの形質は「ひめかれん」とほぼ同程度で、6月下旬定植で5月中旬までに1株から7・4本採花することができます。

「ゆめかれん」は、25年10月に品種登録出願公表されており、一般栽培ができるようになった際には、本病の被害を軽減し、安定生産につながることを期待されます。

（長崎県農林技術開発センター 農産園芸研究部門 花き・生物工学研究室 研究員 川口 智子）